

徳島県立文学書道館 書道特別展

榊莫山

その慈愛に満ちたまなざし

2017年10月1日(日) ~ 11月12日(日)



榊莫山「野蔭」(三重県立美術館蔵)

<関連イベント>

トーク「父の思い出」

日時: 10月15日(日)13:00~13:50 講座室
講師: 榊せい子(榊莫山長女)

作品解説

日時: 10月15日(日)14:00~14:50 講座室
講師: 隅田英二(当館専門職員)

・トーク及び作品解説の申し込み方法

はがき・FAX・メールのいずれかに「榊莫山展トーク・作品解説希望」と明記の上、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号を記入し、当館までお申し込みください。当館1階受付でも申し込みます。

展示解説

日時: 10月29日(日)11:00~11:30 展示室
11月 8日(水)11:00~11:30 展示室
講師: 隅田英二(当館専門職員)

・申し込みは不要ですが、観覧券が必要です。

※ トーク、作品解説、展示解説に手話をご希望の方は実施日の3週間前までに当館までご連絡ください。

※ 観覧に際しては、「座高調整式車いす」を用意しておりますので、ご希望の方はお申し出ください。

開館時間

9:30~17:00

休館日

月曜日。ただし10月9日(月・祝)開館、翌10日(火)休館。

観覧料

一般510円(400円)／高校・大学生350円(280円)／小・中学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金です。
なお常設展もご覧いただけます。
小・中・高校生は土・日・祝日・秋休み期間中は無料です。
高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額です。

主催 徳島県立文学書道館

特別協力 三重県立美術館

後援 徳島県教育委員会・徳島新聞社

NHK徳島放送局・四国放送

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540
ホームページ <http://www.bungakushodo.jp>
メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp


beyond
2020

beyond2020プログラム認証事業


徳島県文化財

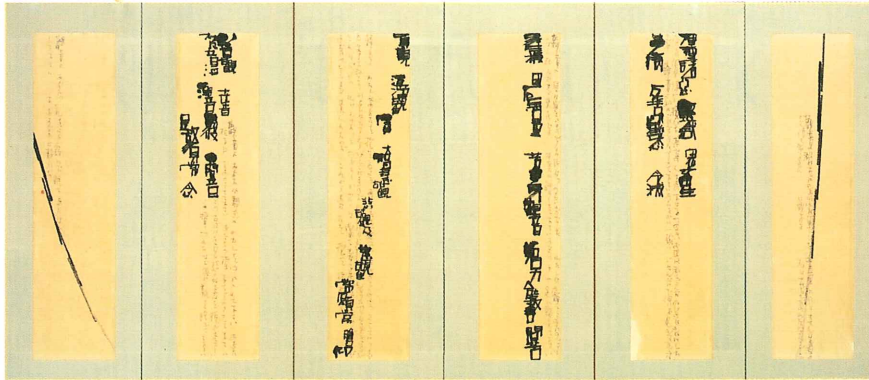
第19回徳島県民文化祭共催事業



さかきばくざん はじむ

榊 莫山、名は齊。1926(大正15)年、三重県伊賀市に生まれた。少年時より書画に関心を寄せ、書を辻本史呂に、美学を京都大学で井島勉に学んだ。豊かな感性と類いまれな才能は時を経ず評価され、伝統派・前衛派の二大書道公募展において、20代という異例の若さで最高賞を連続受賞、審査員となった。だが30代半ばに書壇や団体を離れることを決意し、独自の道を歩んだ。以後、活動の幅を大きく広げ、書や篆刻はもとより、詩書画一体の作、画家たちとのコラボ、多数の著書や題字、個展の開催やテレビ出演など、芸術家・榊莫山の才能を余すことなく発揮していった。2010(平成22)年84歳で逝去。

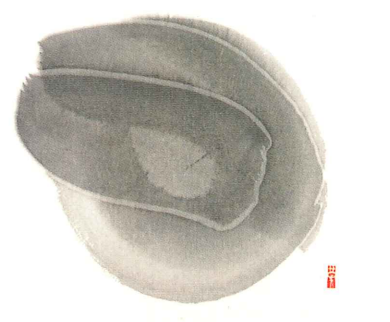
本展では、多彩な作品と文房具、それに寄せた自身の文章を展示し、莫山の視点—まなざしにスポットをあてて莫山芸術を紹介する。



1

2

わたしの世界は、苦渋と迷い、壁との衝突と回り道、揺れる小舟での陶酔と不安・・・などに満ち満ちて、(中略)だから、わたしの作品は、けっして定住者のおさまりがえった芸術ではない。『榊莫山自選作品集』より



3

4

5



交通アクセス JR徳島駅から

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗りし「吉野本町2丁目」で下車、徒歩約5分。
〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗りし「吉野本町2丁目」で下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍場町交差点を北進、助任川を越え4つめの信号を右折し約300m。

駐車場 当館北側にあります。

- 1 観音(加藤千晴詩) 1951年 三重県立美術館蔵
- 2 山河茫々 1985年 三重県立美術館蔵
- 3 寒山拾得 1988年 瀬戸内寂聴氏蔵
- 4 赤門(崇廣堂) 1994年 三重県立美術館蔵
- 5 女 1985年 三重県立美術館蔵

お知らせ

ここのはロビーコンサート
おとばな(ギターとフルートとおはなし)
10月29日(日)14:00~15:00
入場無料・申込不要
書道特別展 巨匠 深山龍洞の仮名
2018年2月14日(水)~3月25日(日)